



ベトナム
大野裕和さん(51)
広島市安佐北区出身

近年、地球温暖化による気候変動が世界各地の農業に深刻な影響を及ぼしている。アジア地域、特にベトナムでは干ばつ、洪水などの異常気象が頻発し、主要農作物であるコメの収量や品質の低下が顕著だ。こうした状況を打開しようと、私が勤務する丸善製薬(尾道市)では、独自の植物抽出技術で開発した気候変動対策の農業資材「コメとれーる®」を活用。現地で高品質な稲作が実現できるよう取り組みを進めている。

「コメとれーる®」は水稲と共生する植物「アオウキクサ」由来の天然成分を原料とし、気候変動による悪影響を緩和する効果が見込める「バイオスティミュラント」資材である。使い方は種籾を一晚浸すだけで簡単に稲の健全な生育を促

高品質な稲作実現へ力

し、環境ストレスへの耐性向上も期待できる。

日本国内では、すでに商品化されており、お米の増収と品質向上などの実績を



ことし6月、ベトナムの稲作現場を視察する筆者(右から2人目)

業・SDGsビジネス支援事業(JICA Biz)に採択された。これは日本企業の海外展開のための基礎調査事業だが、開発途上の課題解決も目的である。丸善製薬が日本で培ったノウハウを基にベトナムの稲作農業が抱える課題を解決しさらなるビジネス展開を目指す。その一環で今年6月、私は初めてベトナムを訪問した。農家の方々と関係省庁へのヒアリングを通し、現

場の声を丁寧に取り上げ信頼関係を築くことの大切さを再認識した。日本での経験と実績を生かすことができればベトナムで「コメとれーる®」導入の輪がさらに広がることを確信している。

ベトナムは世界第2位のコメ輸出国であり、今や国際的な食糧供給の要となっている。厳しい気候条件下でも安定した収量と高品質を実現できれば、ベトナム農業の持続的発展に寄与するだけでなく、世界の食糧分野の安全保障にもつながるはずだ。今後も現地との連携や技術提供を強化し、ベトナムの稲作発展に積極的に貢献できるよう全力で取り組んでいきたい。